

「危機管理・経済雇用」

トピックス

津山誠心会議・改革クラブ 津本辰己



質問↓災害時の避難場所として指定している公共施設の数は。また、施設の安全確認は、どうなっているのか。

四十カ所を指定しているが、過去に浸水した施設や土砂災害の可能性のある場所もあり、避難所としての適否も含めて全体的な見直しを図る。

質問↓市独自の経済雇用対策事業により、市内企業何社に発注出来たのか。また今後も事業継続を図るべきだと考えるが、今後の対応は。

答弁↓百二十八社に発注できた。また、事業の継続性については、本年度策定予定の「後期実施計画」の中で、地元中小企業の経済効果、また、雇用創出に十分配慮していきたい。

質問↓障害者に対する虐待が増加している中で、市として、障害者の人権を守るために、どう取り組んでいくのか。

答弁↓虐待の未然防止・早期発見や適切な対応が図られるよう「津山市障害福祉計画」において、システムの整備に取り組んでいきたい。

地域に財産の残せる

行政運営を!!

緑風会 竹内靖人

質問↓「将来型まちづくり事業」に早く取り組むべきではないのか。

市長↓ますます厳しくなる行政運営を必然的に見直す事が私の役割と認識している。今後は、一面的には矛盾する行革と将来投資という役割を吟味し、有益かつ効果的な施策とする調整が必要だ。難しい作業だがしっかりと取り組むたい。

質問↓町内会の集会所は地域一番の避難所で拠点だが、改修補助に耐震化を含めた制度の充実。現行制度で十分か。

地域振興部長↓集会所改修等の要望は多く、地元の要望を聞きながら耐震化や制度充実の必要性などを検討をしたい。

質問↓農業にはたくさんの税金をつぎ込んでいながら、何のための補助金とするか。

市長↓農業は食糧自給率の向上や食糧の安定供給、自然環境や国土保全、災害防止など多面的な機能を有している。農業の役割や機能は、国民に特別な対価を求める事なく無償で提供をされており、農業が有する価値はお金で買うことはできない。農業を守るためには、補助金は必要不可欠なものである。



市長↓農業は食糧自給率の向上や食糧の安定供給、自然環境や国土保全、災害防止など多面的な機能を有している。農業の役割や機能は、国民に特別な対価を求める事なく無償で提供をされており、農業が有する価値はお金で買うことはできない。農業を守るためには、補助金は必要不可欠なものである。

バイオマス構想、学校給食の

現状と今後は

市民と歩む会 黒見節子



質問↓①バイオマス構想の経過は。②「人にやさしいまちづくり条例」の現状は。③学校給食費の未納④「学校給食施設等整備検討委員会」の意見と今後は。⑤地域防災上、自校給食調理場を残せないか。

答弁↓①木質プラスチックの企業を誘致し九名を新規雇用し、十小学校へ木質ペレットストーブを導入して環境教育を実施した。また、バイオガスの実用可能性等の調査をした。②市有施設、一定規模以上の都市施設の新築、改修増築時に指導・要請し、請求で適合証の交付もしている。スポーツ施設でも要望を聞き、すぐ対処するよう努めている。③昨年度の未納は二百万円を超えるのではないかと。対応に苦慮。未納対策検討委員会で検討していく。④施設整備等の工夫で戸島センターと同規模でも課題解決が図れると集約された。今後、給食施設の具体的な整備計画を作成し、市民から意見をいただく。⑤防災上の観点は大切だが、それだけで調理場を残すことは考えにくい。

◎ 議員は病気見舞金を禁止されています。